



令和 2 年 11 月 17 日 (火) 例会 (第2796回) 報告 (晴) No.2624

出席率 ……23/38 60.53% 第2794回補正出席率 …… 36/39 92.31% コロナ対策例会

**Zoom出席** 市場、庄司、福嶋、松井  
**欠席者** 門永、木村、小坂、酒井(博)、屬、定秀、谷田、赫、中木、浜田(一)、浜田(貴)、堀田、松本(正)、三輪、村山  
**メイクアップ (浜田RC)** 庄司  
**出席免除** 足立、酒井(英)、増谷、渡辺(昇)

◆**会長時間** 瀬戸良三 会長

今日は、サラリーマン川柳やお茶飲の川柳を見て、初恋について思ったことをお話しします。それまでの家族や友達を思う気持ちとは違う、生まれて初めて人を好きになる抑えられない気持ちでしょうか?残念なことに失恋に終わるのが一般的で辛いものですが、初恋は人の数だけあり、学ぶ事は大きいと思います。相手はどう思っているのか気にしたり、自分を良く見せたいと背伸びしたり。自分を見つめ直し、自己嫌悪にもなり、正に子供から大人への登竜門のように感じます。今では遠い昔の懐かしい響きです。

◆**幹事報告** 鷲澤美紀 幹事

◎地区R財団事務所より「2021-22年度奨学生募集願い」 ◎近隣各RCより「例会変更連絡」 ◎米山記念奨学会より「ハイライトよねやま第248号」 ◎青少年育成市民会議より「境港市青少年意見発表会ご案内」 ◎次週(11/24)は休会(定款7条)

◆**定例理事会報告** 鷲澤美紀 幹事

【議題】①親睦ボウリング大会決算[審議]→承認 ②第24回アダプト決算[審議]→承認 ③忘年家族会中止代替案[審議]→承認 ④今後の例会(11/17~12/29)[審議]→承認 ※忘年家族会中止→12/15:通常例会に変更 ⑤次年度副会長案・三輪昌輝会員[審議]→承認 【その他】次年度Gノミニ→当RCは推薦なし

◆**例会変更**(受付=ビジター受付、定刻・ANAクラウン米子)

☆米子RC 11/20(金) 例会変更 ビジター受付あり  
11/27(金) 休会(定款) ビジター受付無  
☆米子南RC 11/23(月) 休会(祝日) ビジター受付無  
11/30(月) 休会(定款) ビジター受付無  
☆米子中央RC 11/26(木) 休会(定款) ビジター受付無  
12/3(木) 休会(定款) ビジター受付無  
☆米子東RC 12/9(水) 夜間例会 ビジター受付あり  
12/16(水) 休会(定款) ビジター受付無

**出席表彰**

連続3年 松本勝志

連続11年 市場和志 各会員



松本会員



市場会員

**11月創立記念日祝い**

21日 村山尚史

29日 岡空晴夫 各会員



岡空会員

— **スマイルBOX** —

◎出席表彰 市場、松本(勝) ◎創立祝 岡空 ◎卓話します 小林 ◎小林会員の卓話、楽しみにしています。内田、瀬戸、友森 ◎スマイルに協力 黒田

◆**12月行事予定 (疾病予防と治療)**

12/1(火) 例会/定例理事会  
8(火) 例会(年次総会)  
15(火) 忘年家族会【中止】→ 昼の通常例会に変更  
29(火) 休会(定款7条)

— **プログラム「地区財団補助金小委員会委員を終えて」** —

R財団委員会 小林 哲 委員

今年の6月末のロータリー年度の終了をもって地区補助金小委員会委員の任期を終えました。5年間の長い任期でしたが何とか健康に過ごして他の方に迷惑をかけることなく卒業できました。この委員会は小委員会というネーミングですが、実は地区の委員会の中で最も活発に活動している組織です。



最初に財団の本当に大まかな説明をします。ロータリー財団とはロータリーの理念を実際に具現化するための組織と私は理解しています。かつてロータリーには一種の神学論争がありました。ロータリーは理念としては個人奉仕を基本とする組織ですが、時代とともに世界的な組織に発展しました。その中で、その実像に見合った世界的な奉仕を実現するためには、個人奉仕ではとても現実的ではないと考えられるようになりました。1917年に、当時のRI会長アーチ・クランプがアトランタの国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で何かよいことをしよう」と提案しました。1928年ミネアポリス国際大会で、この基金はロータリー財団と改称されました。

我々が簡単に財団のしくみを理解するには二つの寄付形態を理解することからです。それは年次寄付と恒久基金への寄付です。恒久基金への寄付はまさに財団の基本財産への寄付で、これは消費されることはありません。その収益金が使われるだけです。年次寄付は3年間収益を上げるために投資され、3年後に収益を含めた全額が国際ロータリー財団と地区に半々で分配されます。この地区に分配された資金を使って各地区で多くの事業を行っています。その中の「地区補助金」に関する事項を取り扱うのが補助金小委員会です。具体的には各クラブから提唱された補助金事業の審査、助言を行い、その実現に協力します。事業終了後は報告書を確認し、国際ロータリー財団へ報告し承認を得ます。

この中で特に気を遣うのが事業の適格性の審査です。私は特に事業の公平性、ロータリアンの事業への積極的関与、事業費の正当性について気を遣って審査しました。5年間という長い任期でしたがこれを卒業した今、庄司PGに多少とも恩返しのできたかなと思っています。

**今回(12月1日)のプログラム**

「少年剣道に携わって」

青少年奉仕 喜多村 実 委員長

**次回(12月8日)のプログラム**

年次総会/「卓話未定」

卓話担当: 会報・資料委員会